

小林鷹之

からの手紙

Vol.53



衆議院議員
小林鷹之 国政報告

討議資料
自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)

千葉市花見川区畑町で街頭演説



「日本の未来を切り拓くために」

「東京2020オリンピック競技大会」は、無観客開催となりました。オリンピック・パ

コロナ禍において、国、県、市からの様々なお願いにご協力を賜り、誠にありがとうございます。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の中でも、全ての方が家庭、学校、職場、自治会・町内会など、様々な制約の中で新たな日常を模索されています。コロナで傷んだ日本経済再生のための大胆な経済対策を早期に打ち出す必要があり、国として、皆様から希望を持てる、この先の社会のあり方を示さねばならない時期に来ていると考えます。

今回の手紙では、私が携わっている仕事の中から、3点ご紹介いたします。①地元の道路網、②宇宙に関する立法、③半導体産業の再生です。これらのテーマも、わが国、そして地元の皆様に対し、政治家として、



新国際秩序創造戦略本部の中間とりまとめを菅義偉総理に申入れ



知的財産戦略調査会の提言を下村博文政調会長に説明



党の政調審議会でデータヘルス特命委員会の提言を説明

自民党で9つの事務局長等として、政策づくりの携わり研鑽を重ねています。

地域の皆様と街頭演説 & 意見交換



この夏は、ひたすら街頭演説と支援者との対話。厳しい声を頂きます。



自民党オープンカフェ CaféSta



特集「政策キーパーソンに聞く!」で司会を務める

新聞社や業界紙等のインタビューを受けました



対談動画 たかゆきチャンネル



角田ひでお公明党千葉県本部副代表と対談を行いました。ビデオは、小林鷹之HPの「たかゆきチャンネル」からご覧下さい。



YouTube たかゆきチャンネル



後援会に入会しませんか

会費無料

- 各種行事のご案内
- ファックスマガジン、メールマガジンを配信

お申込み、お問い合わせは、電話(地元事務所)、メールまたはホームページからお願いします。
(既に後援会会員の方でメールアドレスを未登録の方は、地元事務所までご連絡下さい)

- 地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階 TEL047-409-5842 FAX047-409-5843
- 国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室 TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997
- Mail info@kobayashi-takayuki.jp
- Twitter twitter.com/kobahawk
- facebook www.facebook.com/hawk.kobayashi
- HP kobayashi-takayuki.jp

小林鷹之(こばやし たかゆき) Profile

- 現役職
- 衆議院 憲法審査会 幹事
 - 経済産業委員会 委員
 - 法務委員会 委員
 - 自由民主党 内閣第一一部会 部長代理
 - デジタル社会推進本部 事務総長代理
 - サイバーセキュリティ小委員長
 - 新国際秩序創造戦略本部 事務局長
 - 行政改革推進本部 事務局長
 - 新型コロナウイルス関連肺炎対策本部 感染症対策ガバナンス小委員会 事務局長
 - 知的財産戦略調査会 事務局長
 - データヘルス推進特命委員会 事務局長
 - 経協インフラ総合戦略調査特別委員会 事務局長
 - 情報通信戦略調査会
 - サプライチェーンリスクに関するWT 事務局長
 - 宇宙海洋開発特別委員会 宇宙総合戦略小委員会
 - 宇宙法制・条約に関するWT 座長
- 元役職
- 防衛大臣政務官



地元の道路網
について

千葉国道事務所長と地元の道路関連で意見交換。



「防災道の駅やちよ」についての説明会に、服部友則市長、八千代市議会議員の先生方がご出席。説明は千葉国道事務所長。

点線内が本文図1。



道の駅やちよ

コロナ
ワクチン
接種状況

宮本習志野市長(写真)、服部八千代市長、神谷千葉市長とワクチン接種状況等について意見交換



八千代市内の集団接種会場の視察

月面産業
ビジョン

宇宙産業の推進を図るため、約30社の民間企業が中心となって「月面産業ビジョン～Planet 6.0時代に向けて～」をまとめました。



井上信治大臣に申し入れ



産学による「月面産業ビジョン」の記者発表

議員立法
宇宙資源法案

約2年前から手がけてきた議員立法「宇宙資源法」が本年6月15日に成立しました



衆議院内閣委員会、法案作成者として答弁に立ちました



講師は小池淳義ウエスタンデジタルジャパンプレジデント。演題は、「日本の半導体産業再生へ」。

公団住宅居住者を守る
議員連盟



事務局長を務める公団住宅居住者を守る議員連盟の総会で、家賃問題やエレベーター設置のご要望を頂きました。エレベーターのない上階へは、一段飛ばしで汗

明るい未来(近いものも遠いものもありますが)を約束するものです。

地元の道路網(国道関連)

○本年6月に「道の駅やちよ」が防災道の駅(全国39カ所、県内唯一)に選ばれました!
全国に約1,200ある道の駅。広域防災拠点として活用する動きが始まる中で、私が国土交通省に対して約1年半前から働きかけてきた案件です。

首都直下地震のような大規模災害時でも、停車することなく、自衛隊、消防等の展開拠点や物資の集約拠点等として活用することによって、近隣自治体を含めた広域エリアの人命救助や生活基盤維持の拠点になります。国からの資金も用いて施設整備を行い、花見川・新川・印旛沼のサイクリングロードや八千代市の「かわまちづくり計画」とも整合的に、観光や農業の拠点として活用することも十分可能です。にぎわい創出、産業振興に繋がる絵を皆で描いていきましょう。

○国道16号の渋滞解消(八千代市・千葉市のバイパス道路構想)

国道16号において、八千代市と千葉市の境(勝田台・横戸町付近)からこはし台入口交差点付近、そして、長沼交差点から穴川交差点付近の渋滞はひどく、暮らしたり物流に大きな支障をきたしています。この対策として、これまで国交省に



図1

の場とする時代に入っています。私が子供の頃、月に行くことは「夢」でしたが、娘の世代の子供たちにとっては「目的地」の一つになります。さらに、米国や中国が月や火星における産業活動・資源利用を目的とした探査を本格化しています。わが国においても、宇宙ベンチャー企業が、月面での産業活動を目指して頑張っています。

私は約2年前から、国際社会との協調を大前提として、国民生活の向上と宇宙産業振興の立場から、宇宙空間で得られる資源の利用のあり方を検討してきました。

このたび、月を含む宇宙空間で民間事業者が採取した資源(水や鉱物など)に所有権を認める法律(宇宙資源法)を6月15日に議員立法で成立させました。世界で4番目の立法です。これまで、わが国の宇宙ベンチャー企業は、わが国に法律がないため、米国や欧州を拠点に活動せざるを得ない状況でした。今回の立法により、事業者の予見可能性を高め、国内外の企業の宇宙産業への挑戦を支援するとの国家としての意志を国際社会にも示すことができました。今後は、この法律を国際ルールまで発展させるべく活動を続けたい。

これは、宇宙産業推進の第一歩に過ぎませんが、将来、この「第一歩」が画期的な一歩であったと評価される時が来ると確信しています。今を生きる私たちだけではなく、わが国の未来を担う子供達のためにも、歩を進めてまいります。

日本の半導体産業再生に向けて

皆様が使用されているスマートフォン、パソコン、テレビなどのあらゆる電化製品や自動車、また電気、鉄道などのインフラ全ては半導体がなければなりません。

対し、千葉北西連絡道路を南伸することを働き掛けてきたところ、本年6月、国土交通省がこの方向性に沿った構想をまとめました(図1)。

○検見川・真砂スマート・インターチェンジ(東関東自動車道)の開設に向けて

県都・千葉市と都心とのアクセス改善や、千葉西警察付近の慢性的な渋滞解消を図る観点から、国土交通省と話し合いを進めてきましたが、昨年10月に「準備段階調査箇所」に正式に採択されました。国道14号の改良もセットです。

○国道14号幕張5丁目交差点の改良による歩道整備

設計を工夫し、渋滞を起こすことなく、安全に徒歩で渡っていただけけるよう、現在、千葉国道事務所と前向きに調整中です。

○第二湾岸道路の計画が動き出しました!

習志野市や千葉市の東京湾沿いを通ることになります。車の流れが分散され、国道357号や京葉道路の慢性的な渋滞の解消や物流活性化による産業振興にもつながることが期待されます。

宇宙資源法が成立しました

「宇宙?」そう思われる方も、日常生活において自動車や携帯電話に搭載されているナビ(GPS)、衛星放送、衛星通信、天気予報などを利用されると思います。今日の私たちの生活はもはや宇宙空間の利活用抜きには成り立ちません。

また最近では、宇宙飛行士ではない一般の方による宇宙旅行体験のニュースを目にするようになりました。イーロン・マスク氏が立ち上げたスペースX社を始め、民間企業が宇宙を事業活動

れば動きません。わが国の半導体産業は、世界の半導体の50%のシェアを有していた時代もありましたが、今では6%(2020年)でしかなく、他国からの輸入に依存している状況です。

「自動車メーカーが半導体不足で減産」との報道を目にした方も多いと思いますが、自動車に限らず、半導体不足が国民生活に多大な影響を与えること、ひいては国家運営の根幹を揺るがす事態にもなりうるということが明らかになりました。

すなわち、半導体は、デジタル社会を支える重要基盤であり、安全保障に直結する戦略技術としても死活的に重要です。各国が半導体の生産拠点の国内誘致、先端半導体の技術開発にしのぎを削り、米中の覇権争いの中核にも位置付けられています。

わが国としても、6月に「半導体戦略」をとりまとめましたが、先端半導体の技術開発、人材育成さらには、わが国の半導体産業の基盤強化など山積する課題について、わが国が半導体後進国にならないよう、国家戦略として取り組み、わが国の半導体産業再生を早急に成し遂げる必要があります。

現在、党の新国際秩序創造戦略本部、半導体議員連盟の事務局を務めており、政府、産業界、アカデミアと深く連携しつつ、布石を打っています。半導体分野においても、必ずやわが国を世界にとつて不可欠な存在にする。世界の真ん中に日本を持つていく。その強い思いを持って取り組んでまいります。

令和三年八月吉日

衆議院議員 小林鷹之